

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 3月 1日

【評価実施概要】

事業所番号	0173800582		
法人名	有限会社 ライフケア		
事業所名	グループホーム ひまわり		
所在地	日高郡新ひだか町静内旭町1丁目30-29 (電話) 0146-43-3388		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成20年 2月28日	評価確定日	平成20年3月14日

【情報提供票より】(20年 2月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 8月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	24人	常勤13人、非常勤11人、常勤換算12.4人	

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル造り		
	1階建ての	～	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	水光熱費 13,000円
敷金	無		暖房費(11～4)月6,500円
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(50,000円)	有りの場合 償却の有無	○有 2年間
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,300 円		

(4) 利用者の概要(2月 28日現在)

利用者人数	18名	男性 3名	女性 15名
要介護1	3名	要介護2	2名
要介護3	8名	要介護4	3名
要介護5	2名	要支援2	0名
年齢	平均 84歳	最低 66歳	最高 101歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	山田クリニック、平野歯科
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営者が内科医、管理者が看護師であり、隣接する掛り付けの病院との連携も良好で、利用者及び家族の信頼と安心を得ています。二つの併設されたユニットはすべてバリアフリーで繋がり、一方のユニットは生活型のホームとし、他方のユニットを介護型とするなど、利用者の介護度の状況で暮らし向きに多少の区分がされています。ターミナルケアに対する家族並びに掛り付け医との連携も行なわれています。地域と交流も新興住宅地の中にあつて徐々ではありますが深まっております、これからの地域と密着したホームの運営が期待されます。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価で提案された広報活動の強化では、家族への「ひまわり便り」の内容がとても良く、読みやすいものとなっています。また、介護に係わる記録も整然と整理されています。今春はセンター方式の勉強会も行ない、さらに介護記録の整備を考慮されています。会議の持ち方なども改善が見られ、評価に対する真面目な対応は評価されます。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の各項目にわたりスタッフの気付きが集大成されてできあがるなど、運営者、管理者、スタッフなどすべてが評価への取組みに対する共有を図ろうとする姿勢が見られます。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議の内容は、利用者やホームの状況、行事の紹介、災害時の避難にいたる広範囲な話し合いがされていますが、出席されるメンバーも広範囲にして、多角的な意見交換ができるよう取組みが期待されます。特に婦人部の方々や近隣の商店主、協議内容によっては消防署員、警察官、外部評価調査員などもメンバーとして加えることがより望ましく、流動的な取組みを期待します。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族への報告はとても良くできており、家族の信頼は厚いものがあります。この関係から家族の意見、要望、また不満などを聞き取るスタッフのスキルアップを望みます。さらには玄関の「意見箱」設置や第三者の苦情窓口の紹介など、また、家族へは提案型からの回答を得る工夫などの取組みにより、ホームのサービス向上に反映されるよう期待します。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入しながら、地域との交流を図っていますが、自治会の行なう公園の清掃や道路のゴミ拾いなど、地域活動へホームとして参加するなどの積極的な取組みを期待します。また、地域の方々と交流できるホームイベントへの招待、災害時における協力体制、また、認知症に係わる相談窓口の開設やキャラバンメートの活用など、地域のニーズに呼応した取組みを期待します。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム理念には「住み慣れた地域で暮らせる社会を求めて・・・」の文言を独自に挿入しながら、地域密着型のサービスの向上を目指しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営者並びに管理者、そしてスタッフのすべてが、日々のケアサービスについて理念をベースとした確認を行なうなど、共有への取り組みがされています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会に加入し、敬老会の出席も行なわれていますが、地域活動への積極的な参加など地元の住民との交流、また、ホームとしての交流の機会作りが不足しています。	○	自治会加入はとても良いことですが、自治会事業などで参加できそうな事業、行事、たとえば地域活動としての道路や公園等のゴミ拾い、草取りなどの清掃活動、また、近隣の住民を招いてのホームイベントなど、利用者が参加できる交流の場を作りなどの取り組みを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価で改善項目では、家族への広報活動で大きな充実が見られます。また、ケアサービスの記録整備も見やすく改善されました。今回の自己評価もすべてのスタッフが関与して気付き、反省などが集約されており、運営者、管理者及びすべてのスタッフが理解と今後の活用を理解しています。		

新ひだか町 グループホーム ひまわり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在、3ヵ月毎の会議開催をしています。会議の内容はホームの状況や利用者の状況、行事企画、また、緊急時の避難訓練、ターミナルケアに至る広範囲な話し合いがされていますが、会議のメンバーが少なく流動的な協議不足が危惧されます。	○	運営推進会議を利用してホームのサービスの向上には、多方面の方々の意見や話し合いが望まれますので、お集まり頂くメンバーの幅を広げる、例えば婦人部の皆さん、近くの商店主、消防署員、警察官、外部評価調査員など会議のテーマごとに必要と思われるメンバーの招聘をするなど流動的な取り組みが期待されます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域では介護関連組織で作る合同ケア会議を2ヵ月毎に開催して、市町村の担当職員と意見交換をしています。ホームとしては、今後、ホーム行事への案内や招待など情報を蜜にしなが、連携を図る予定が企画されています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族のもとへ送られる「ひまわり便り」は、紙面のレイアウト、内容、利用者の表情を良く捉えた写真など良くできており、家族の安心に繋がっています。多少の余白にはスポット的な方法で「理念」やホームの考えていることなど挿入するアイデアがあっても良いと思われます。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者及びスタッフは、家族への「お便り」や訪問時に、意見、要望や不満などを聞くよう努めています。また、苦情などの申し立ての窓口もホームの窓口紹介で、第三者の紹介の記載が不足しています。	○	家族が気安く意見や要望を話せる雰囲気作りが大切ですスタッフのスキルにも大きく影響します。また、玄関先の「意見箱」設置や第三者の苦情等窓口紹介も必要で、ホーム運営の向上に向けたあらゆる試行や取り組みに期待します
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	2年前にはユニットの増設に伴いサービスの充実を図るため新人の補充がされていますが、現在は異動はなく安定した体制ができています。異動の際にはベテランのスタッフが気配りをして利用者が不安を生じないように配慮しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフのスキルアップを図るため、病院やほかの施設への実習を行なっています。また、ホーム内では運営者や、管理者を講師とした勉強会を度々行なっています。外部研修に出席した際には、全体会議で報告をするなど共有を図っています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入しながら、研修や会議の場でほかのグループホームの人たちと交流を図っていますが、人員も限られており、ホームが期待するサービスの質の向上に資するまでは至っていません。	○	管理者やスタッフがほかの同業者（ほかのグループホーム）と交流し、相互訪問や勉強会を行なうことは、スタッフ個人のスキルアップに貢献するだけでなく、当該ホームのサービスの質の向上に反映されるものと思慮いたしますので、ネットワーク作りによる計画的な取り組みを期待します。
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居をされる前には、ホーム生活を見学して頂くことにより雰囲気を知ってもらい、スタッフは本人のこれまでの生活歴を尊重しながら、徐々に馴染めるように家族と相談しながら支援をしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居の際に知り得た本人の生活歴や習慣を十分熟知しながら、信頼関係の構築に努めて、スタッフは、経験豊かな利用者からの知恵を学び合うなど、ともに支え合う暮らしを展開しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者自ら話してもらえる信頼関係、環境作りの中から、利用者の思いや意向を把握するように努めています。また、意思など表現ができない利用者については、家族からの情報をもとに日々の生活のなかから思いや意向を把握するようにしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	各担当スタッフの情報や評価を持ち寄りながら、本人本位の目標設定を全体会議で検討しあいプラン作りに反映しています。原案作りには家族の意見も聞くように努めています。この春には、利用者本位の介護計画がより適切に作成されるようセンター方式の勉強会が計画されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月毎の見直しと評価の検討を行なうほか、利用者状況の変化、特に入院や退院時には医師や家族の意見を聞きながら、新たな計画への見直しをしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームが有するリフトつきマイクロバスを利用して、利用者の病院への通院や、利用者の希望する買物、美容院への送迎など多機能を生かした支援がされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	掛り付け医の月2回の定期健診及び往診は頻繁に行なわれています。ホームには運営者が内科医、管理者が看護師であり、掛り付け医との連携は良くできており、家族の安心感をえています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時または早い時期から、終末期における対応や指針を家族とともに相談しており、既に看取りの体験もされています。重度化の傾向にある場合は家族への再確認を取りながら、医師の指導のもとにターミナルケアを行なっています。スタッフも勉強会を重ねて十分な対応ができるよう共有に努めています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	自尊心を傷つけることのない配慮、特にトイレや入浴に気配りをして、常に利用者の立場を自分に置き換えて配慮をするなどプライバシーの確保の徹底化に努めています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食後は、下膳の手伝い、また、陽だまりの広いリビングでの休憩など、スタッフ側の決まりに左右されることなく、利用者本位の暮らしを見ることができました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者同士の会話が弾む楽しい食事風景を体験できました。また、利用者によってはミル食、注入食に時間を掛ける場合もありますが、スタッフは、利用者に合わせた食事の支援が行なわれています。食後はスタッフとともに下膳、食器洗いをしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者には、清潔保持とストレス解消のため少なくとも週2回の入浴を勧めています。また、清拭や足浴も交えています。利用者の希望により時間、順番などにタイミングを合わせながら楽しんで入浴をされています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者間では、自然に役割などが決まっており、朝の掃除機による廊下、リビングなどの清掃、食器洗い、男性は除雪もして頂いています。時折訪れるボランティア仲間と将棋や花札をして楽しんでいます。編み物が得意な利用者は靴下を編んでスタッフなどにプレゼントしており、スタッフは感謝しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームでは日常的な散歩に加えて、スタッフとともにドライブなどで郊外に出掛けて気分転換をしています。家族とともにお寺参りやお墓参りも自由にしています。盆や正月には家族のもとで過ごしております。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関などは日常的に開放されています。夜間のみ19時から翌朝7時までは玄関を施錠することとしておりますが、家族の訪問時には時間の制限をしないでゆっくりとした時間を過ごして頂いています。		

新ひだか町 グループホーム ひまわり

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災や地震などの災害に利用者を安全に避難できる方策は、消防署の協力を得て年2回の避難訓練の実施、また、運営推進会議でも良く検討されていますが、スタッフ数の少ない夜間での災害時には不安が残ります。	○	災害時への対応は、近隣の住民の協力が不可欠です。また、避難方法、避難場所、避難後の利用者の確保など、スタッフが限られている夜間を想定した訓練は重要と考え、それら取り組みを望みます。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	2つのユニットの食事は一緒に作られています。調理専門のパート職員による献立は、利用者の状況を良く把握しながら作られており、量や栄養バランス、味付けも上手に作られています。水分の摂取量も正確に記録されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	2つのユニットは1階に広がり、食堂、リビングなど天井も高くしてホーム全体にゆったり感がしています。採光の良いサロンなどは利用者の居心地の良いうたた寝に最適な場所となっています。また、各ユニットには雛壇が飾られ季節感も十分に感じることができています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族の希望により、ベッドの位置や家具類などさまざまなレイアウトで安心の空間ができあがっています。壁も写真など賑やかに飾られています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。